

北方町のカフェと大垣のジムが“力作”

スポーツマンを
弁当でアシスト

北方町曲路のカフェ「Oit's Cafe」と、大垣市三津屋町のスポーツジム「POWER PRODUCE」が、スポーツやトレーニングに取り組む人向けの「〃活〃弁当」を共同で開発した。体づくりに欠かせないタンパク質を多く摂取でき、ジム代表でスポーツトレーナーの中野諭さん(36)は「トレーニング効果を高める弁当として運動に取り組む人に食べてほしい」と勧める。(山田雄大)

コロナ禍で新メニューを模索していたカフェが、大垣西濃信用金庫の仲介でジムとコラボ

し、昨年12月から開発を進めてきた。中野さんがメニューを監修、カフェオーナーの林康裕さん(31)が運動後に食べやすい味付けを目指し、約1カ月かけて完成させた。牛ステーキ、ローストポーク、照り焼きチキンは脂身の少ない部位を使用。岐阜農林高校(北方町北方)の生徒が無農薬で栽培したトマトやキウイ、タイコンなどをサラダと温野菜に取り入れた。

肉たっぷり、味付け工夫

13日には、中野さんがトレーナーを務める同校男子バスケットボール部員27人が試食した。主将の平出海さん(17)は2年が「おいしい。3種類の肉の味付けがそれぞれ違っていて、毎日でも飽きることなく食べられそう」と話すように部員に好評だった。

カフェは、今月中にテイクアウトメニューとして提供を始める予定。価格は税込み980円。



中野諭さん(左)と林康裕さんが共同で開発した「〃活〃弁当」＝北方町北方、岐阜農林高校